

密
伴
慎
一
氏

大腸絨毛状腫瘍の臨床病理学的，免疫組織化学的ならびに形態計測による研究：

その良性悪性組織診断基準と
組織発生について

1 9 9 0

筑波大学大学院博士課程医学研究科

伴 慎 一

92005221

目 次

I 大腸絨毛状腫瘍の問題点と研究の目的	1
1 はじめに	1
2 歴史的概観	1
3 大腸絨毛状腫瘍の問題点と研究の目的	2
II 大腸絨毛状腫瘍の定義	6
III 大腸絨毛状腫瘍の臨床病理学的検討	10
1 目的	10
2 対象と方法	10
3 検索成績	11
1) 年齢, 性差, 発生部位, 大きさ	
2) ポリペクトミー症例における絨毛状構造, 絨毛状腫瘍の出現頻度	
4 考按	15
5 小括	19
IV 大腸絨毛状腫瘍の病理組織学的所見の検討	20
1 目的	20
2 対象と方法	20
3 検索成績	22

1) 絨毛状構造の組織学的多様性	
2) 絨毛状構造の三次元形態	
3) 肉眼形態	
4) 浸潤形態と深達度	
5) Focal atypia, Focal cancer の出現頻度および位置	
6) 腫瘍辺縁における粘膜内進展所見	
7) 粘液量	
4 考按	45
1) 絨毛状構造	
2) 絨毛状腫瘍の発育・進展	
3) 絨毛状腫瘍の悪性化	
5 小括	53
V 組織形態計測による大腸絨毛状腫瘍の異型度の評価	55
1 目的	55
2 対象と方法	55
3 結果	59
4 考按	64
1) 絨毛状腫瘍の組織異型度の客観化	
2) 組織形態計測値よりみた絨毛状腫瘍の良性悪性組織診断	
3) 絨毛状腫瘍の悪性化	
5 小括	70
VI 免疫染色による大腸絨毛状腫瘍中の増殖細胞の検討	71
1 目的	71
2 材料と方法	71

3 結果	72
4 考按	76
1) 大腸上皮性腫瘍組織中の増殖細胞の認識	
2) 絨毛状腫瘍と腺管腺腫, 腺癌における増殖細胞の頻度と分布の比較	
5 小括	78

Ⅶ 大腸絨毛状腫瘍の生検組織診断に関する検討 79

1 目的	79
2 対象と方法	79
3 検索成績	79
4 考按	81
5 小括	84

Ⅷ 総括 86

Ⅸ 結論 89

謝辞 90

文献